

会津若松市総合計画審議会（第2回）議事要旨

- 1 日時 平成28年1月28日（木）13時15分～15時45分
- 2 場所 会津若松市生涯学習総合センター研修室5・6
- 3 出席者 委員16名（別紙委員名簿のとおり）
オブザーバー 3名（別紙名簿のとおり）
会津若松市長
事務局：企画調整課長、企画調整課職員3名

（次第）

- 1 開会
- 2 議事
 - （1）本市の現状と取組について
 - （2）スマートシティについて
 - （3）第7次総合計画策定のスケジュールと構成案について
- 3 閉会

▼開会（進行：事務局員）

▼議事（進行 会長）

- （1）本市の現状と取組について（別紙資料に基づき市長より説明）

（主な質疑）

【委員】

総合計画については一定の期間ごとに検証が必要ではないか。また、計画段階でのチェックや総括を実施する仕組みはないのか。

【市長】

総合計画は最上位計画である。そして行政評価や予算が実行計画と考えている。状況や背景は変わっていくので、PDCAサイクルをまわしながら、計画に係る取組については見直し等を行い、より良い取組としていく。

【委員】

人口減少により就労人口が減っていくが、障がい者の活用を視野に入れて欲しい。

【市長】

障がい者差別解消法もできたので行政の責任として考えていく。

【委員】

会津発のベンチャー企業の支援について、どう考えているか。また再生可能エネルギーは「熱」の有効活用が大事だがどう考えているか。

【市長】

ベンチャー支援については企業との情報共有や企業のレベルを上げる取り組みが必要と考えている。「熱」の有効活用については引き続き検討したい。

【委員】

大学の活用ということで、女性が特に多い短期大学部にも光をあてて欲しい。

【委員】

身の丈にあった施策も必要ではないか。福祉的な視点のモデルも必要ではないか。

(2) スマートシティについて（別紙資料により日高委員より説明）

（主な質疑）

【委員】

野菜工場について、障がい者の雇用等、雇用の間口を広げることはできないか。

【委員】

工場の見学会などはやっているのか。

【委員】

食育をキーワードとして実施している。また企業向けにも実施している。

(3) 第7次総合計画策定のスケジュールと構成案について

（別紙資料に基づき事務局より説明）

（主な質疑）

【委員】

読んでもらえるような構成を考えなければならない。

【事務局】

ユニバーサルデザインにも配慮したい。市民の皆様に見ていただけるような構成、内容に努めていく。

【委員】

これまでの長期計画では掲げた目標を達成していない施策もある。今回は実態に即した数字を目標とすべきである。また、総合計画全体の目標はどこに入るのか。

【事務局】

現実的な目標を設定したい。全体の目標については、「まちづくりのコンセプト」「基本ビジョン」に入る予定である。

【委員】

総合計画は、あくまで大まかな方向性を示すだけなのか。

【委員】

他の自治体で策定に関わった経験からも、ある程度の方向性を示すものにならざるを得ない。

(4) その他の意見

【オブザーバー】

計画実施段階での市民の声をフィードバックする方法が必要ではないか。また市役所は人件費を減らしているというが、ただ減らすことを目的とするのはどうなのか。長期的に見ると市の弱体化を招く恐れがあるのではないか。

▼閉会（事務局）